



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.7

議員の人数は、多いの?少ないの? を考察します。

敦賀市区長連合会の要望内容(抜粋)	1. 他自治体の定数と比較 2. 今後の人口減少などの社会情勢	3. 厳しい敦賀市の財政状況 4. 敦賀市が抱える課題、市民の意見
-------------------	------------------------------------	--------------------------------------

上記4項目の理由から、議員定数を4人削減して20人にする事、また、各議員が民意吸収機能の充実、議会運営の工夫などに努め、議会が大胆な改革に取り組むことも求められています。

敦賀市区町連合会から要望を受けて、議会はどのように判断したのか?

前期の市議会では、議員定数の4人削減要望に対して、3常任委員会あたり約8人の議員が必要であること、2015年に定数を2削減したばかりで様子を見ることを理由に、現状維持と回答しましたが、議員それぞれに意見は分かれています。

福井新聞の「敦賀市議へのアンケート」(2019年5月30日の記事より)

【質問】議員定数を現状の24から削減すべきか? という質問に対して。

削減すべき…12人 削減すべきではない…6人 答えられない…6人

削減すべき理由

- ・同規模の他自治体と比較して、議員数が多いから。
- ・議員自らの考えを市政に反映させやすくなるから。

定数維持の理由

- ・活動範囲が拡大し市民の要望を聴くのが困難になるから。
- ・二元代表制による議会の監視機能の低下が懸念されるから。



豊田の意見

議会運営などが簡潔および効率的に進められることに加え、それぞれの議員が必然的に広域的な考え方になるため、削減すべきと考えます。



議員間で取られた議員定数に関する調査結果 を紹介します。(福井新聞のアンケート後の調査で、24人の議員がそれぞれ答えています。)

削減…10人 現状維持…10人 増員…2人 その他…2人

削減すべき理由

- ・課題が多いとはいえ、定数を削減しても機能低下を招くとは考えられないから。
- ・会派制による議会運営なので、定数減による影響はさほど大きくないから。

定数維持の理由

- ・原子力発電所や敦賀港などがあり、多くの議員で議論することが必要だから。
- ・地区推薦や組合、政党などの組織がなければ立候補すら難しくなるから。

増員すべき理由

- ・立候補しやすくなる。なり手不足の解消。監視・民意吸収機能が高まるから。
- ・組織票の低下。市民に身近な議員が増え、政治への関心が高まるから。

議員の中から、意見の多かった内容「議会の監視機能は何人で担保出来るのか?」「何人で議論するのが適切か?」を考察します。

専門家によると、会議を円滑に進めるためには、4~6人程度が望ましいという意見が多く、人数が多いほどアイデアや意見が出るという訳ではないようです。また、極端に人数が少ないと、違った意見や新しい提案などが出にくく、問題点の指摘や、今後の課題提案などに乏しくなる可能性も、専門家は指摘しています。問題の指摘は、議会という監視機能に言い換えることが出来ることから、議会の監視機能および、議会の多様性を考慮した場合、1常任委員会あたり4人は少なすぎるでしょうが、6人であれば監視機能および、多様性の担保は取れると考えることが出来るのではないのでしょうか。

まとめ

監視機能の低下…… 20人の議員がいれば、監視機能は低下しない。 多くの議員で議論… 6人であれば、3常任委員会なので18人いればよい。
採決に及ぼす影響… 会派制の採用により、採決に影響は及ぼさない。 民意吸収機能…… 敦賀市は9地区に分けられる。各地区に2人で18人。

議員の報酬は、多いの?少ないの? を考察します。

議員定数の現状維持や増員をすれば、立候補しやすくなることは間違いありません。ただ、議員ひとり当たり年間約750万円の予算が必要で、4年間では約3,000万円が必要になります。私たちは税金から報酬をいただいていますので…、皆様に知っていただきたい、お金のことについて触れてみます。



改めて、福井新聞(2019年5月31日の記事より)のアンケートを紹介します。

【質問】現在の議員報酬で専業は可能か? という質問に対して。

専業可能とした議員の意見

- ・女性として、自立した仕事・生活を目指すには専業は可能。
- ・多くの市民の声を議会に反映しようとするれば、専業の方がいい。
- ・市民の暮らしに寄り添った議員活動をするため、専業が望ましい。

専業は困難とした議員の意見

- ・家族状況などにもよるが、現在の議員報酬では厳しい部分がある。
- ・現状では、家庭を持つ**若手の議員は専業で生活するのは難しい。**
- ・定数削減するのであれば、**報酬の見直しも検討**してはどうかと考える。

アンケートでは、現在の報酬で専業は困難と答えた議員が半分の12人。「60歳以下ではきつい」、「子育て世代は厳しい」といった意見もありましたが、子育て世代の多くは、現在の報酬で専業は可能と答えています。

現在の敦賀市の議員報酬

報酬**40万7千円** + 政務活動費**4万円**
年収は約**650万円** + 年額**48万円**

豊田の意見

報酬は十分です。議員専業でも生活は可能ですが、工夫次第で兼業する時間も十分に確保出来ます。議員失職時のリスクを回避するためにも兼業をお勧めします。

若い世代が議員を目指しづらいとの指摘がありますが、敦賀市議会は、年齢に関係なく年収約650万円の報酬があります。若い方(例えば市区町村議会議員の被選挙権25歳)であれば、民間給与実態統計調査の平均収入の2倍もの額になります。議員定数の削減を行い、議員専業では生活が困難という人は、兼業で議員を行うのがいいのではないのでしょうか。

豊田のお願い

私は、組織や団体、政党はもちろんですが、身内もほぼいません。ですから、**私を支持してくれる人の中には、議員定数を増員すべきという意見が少なくありません。それは、厳しい選挙になれば、私が落選することを知っているからです。**

執行権のない議員には出来ないことがあります。そこで、執行権のある行政を動かすのに必要になるのが皆様の声です。そして、市民の皆様の声を市政に届けるのが議員の仕事です。ですから、ひとりでも多くの声を聴かせていただきたい。将来の敦賀のことを考えて、声を上げていただきたいと願っています。



編集後記

苦境を皆様と乗り越えていくため、議会はどうすればいいのか?

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、世界中が大変な状況に陥りました。幸い敦賀市は感染者が出ていませんが(令和2年6月3日現在)、皆様の中には大きな被害を受けた人もおられるでしょうし、そうでなくても、不安な日々を過ごされていることでしょう。私自身、阪神大震災や東日本大震災後の活動を通して、生き方が大きく変わりました。敦賀市議会議員を目指そうと考えたのも、東日本大震災後のボランティアの経験と、その後の敦賀青年会議所の活動からでした。初めての市議会議員選挙では最下位当選でしたので、選挙の厳しさを誰よりも理解していますが、「議員定数は削減すべき」と当選後一貫して主張しています。それは市議会議員2期の経験で4人もしくは6人削減しても、議会の機能が損なわれないということを肌で感じているからに他なりません。今回は、議会の現状などを知っていただきたい一心で書きましたが、最後まで読んでいただき誠にありがとうございました。



豊田こういちレター Vol.7

2020年6月5日発行
発行責任：同志会
編集責任者：豊田耕一

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員 **豊田 耕一**

〒914-0045
敦賀市古田刈66-803-2
TEL.090-7116-9049

日々の取り組みや、思いを
毎日更新しています。



YouTube
チャンネル



アメブロ
[田舎での子育て]



Twitter
@kouiti_toyoda



豊田耕一
オフィシャルサイト

